

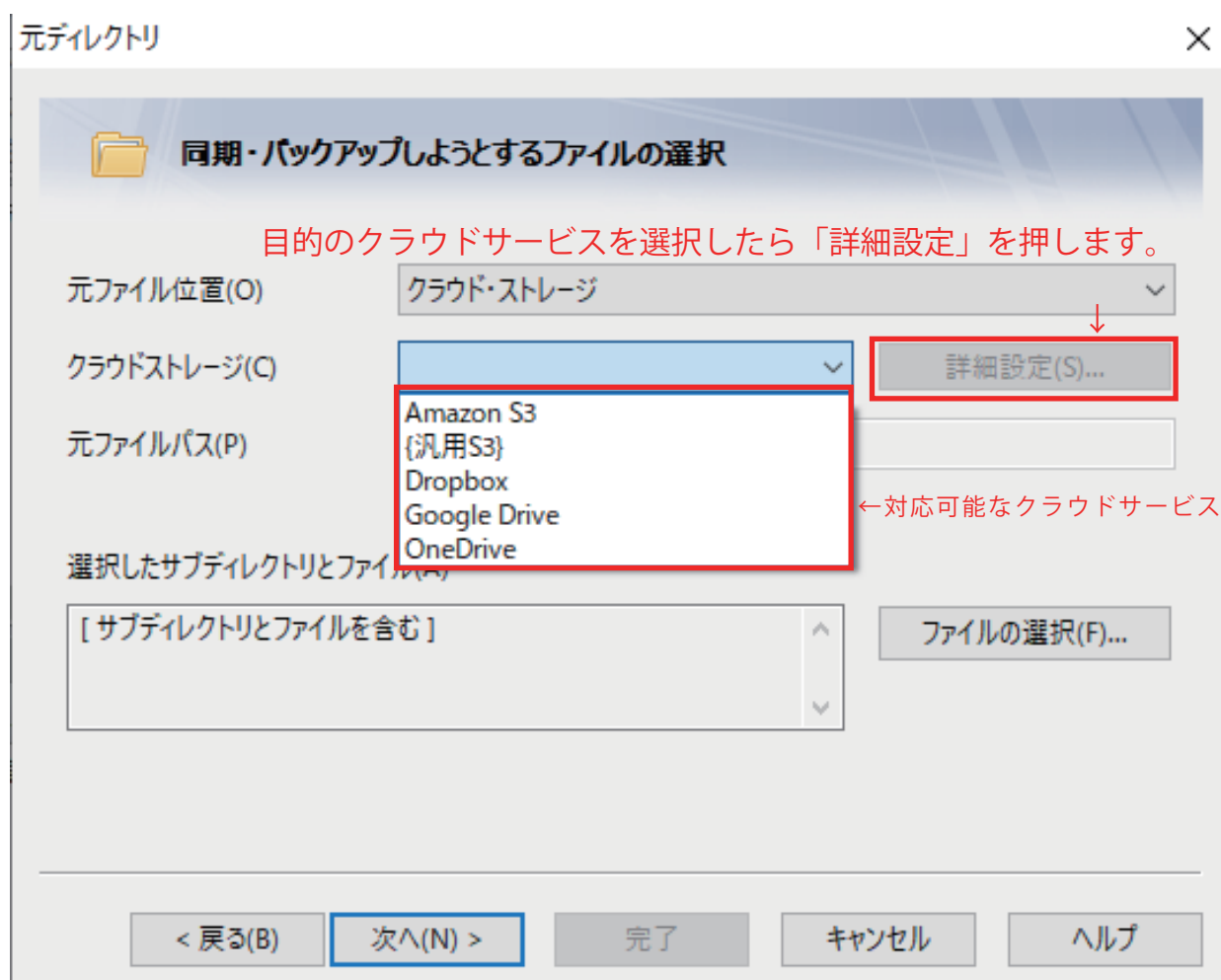
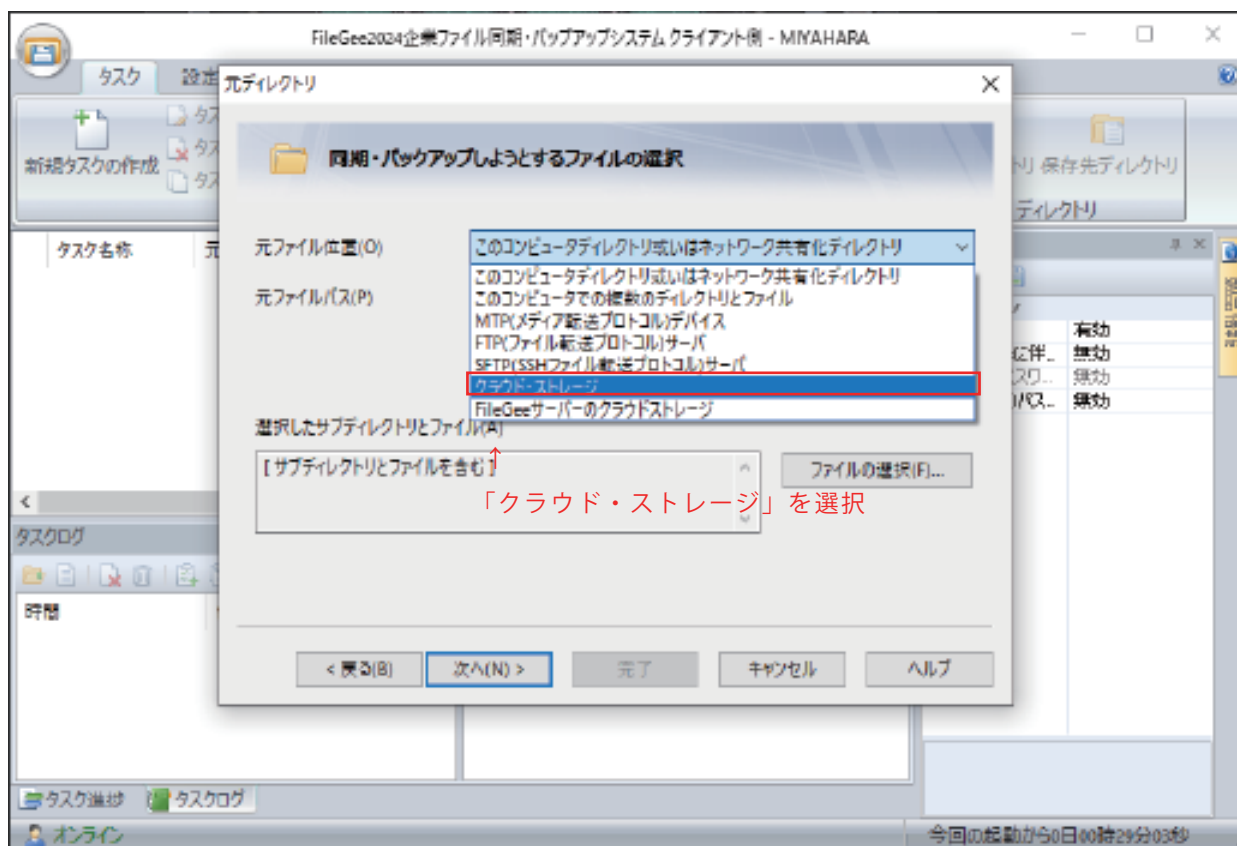


FileGee でクラウドバックアップ

クラウドとの紐づけ設定を行うには、それぞれ提供元でアカウント作成、クラウド上の初期設定が必要になる場合がございます。

- ①AWS の設定
- ②汎用 S3 の設定
- ③Dropbox の設定
- ④Google Drive の設定
- ⑤OneDrive の設定

バックアップタスク設定で「バックアップ元」「バックアップ先」共に同じ設定手順です



AWS でクラウドバックアップを行う。

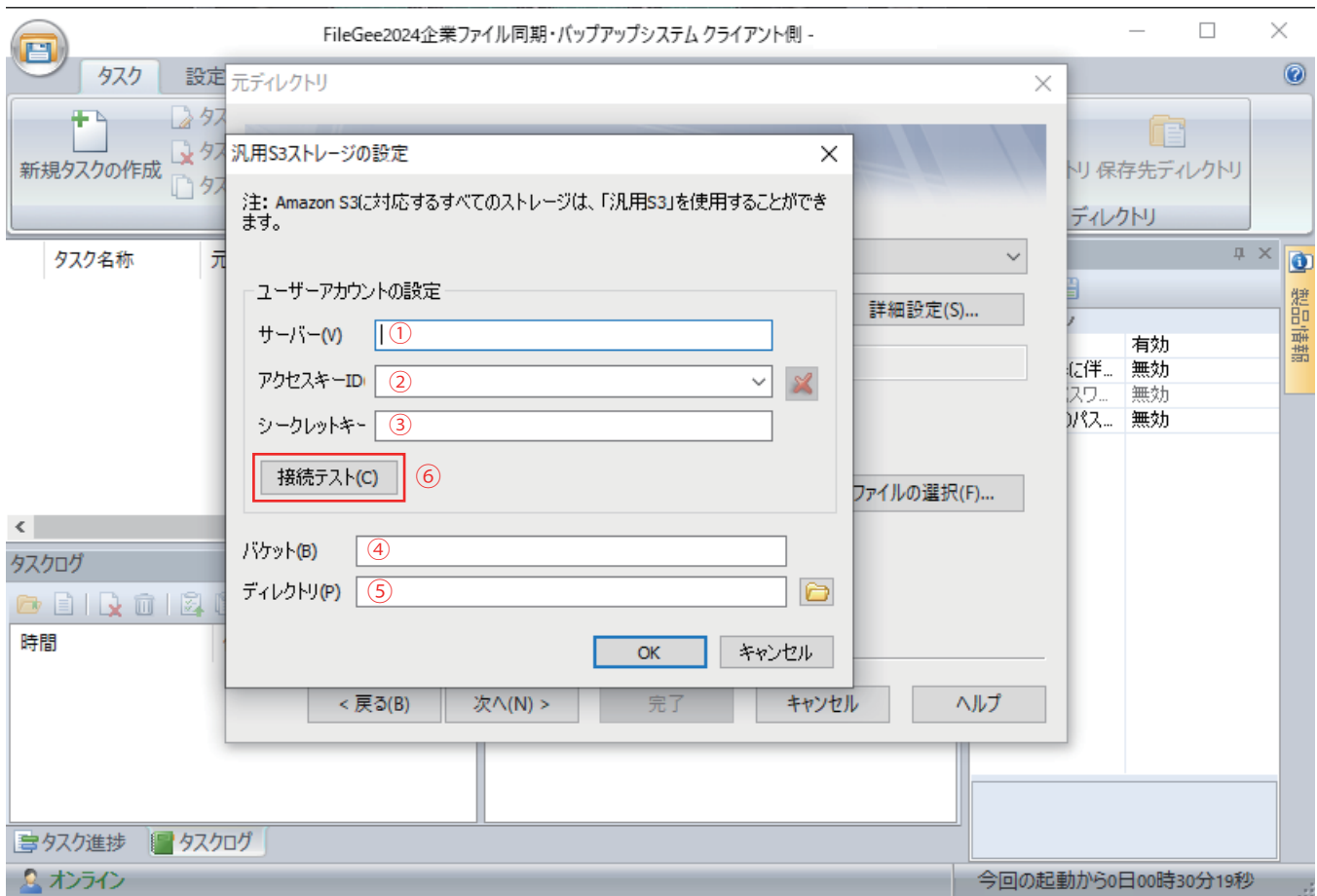


予め AWS 側で初期設定（アクセスキー、シークレットキー、バケット名）を済ませて下さい。

バックアップタスク作成～元ディレクトリ、若しくは（保存先ディレクトリ）の画面で設定が行えます。

- ①アクセスキー（予め AWS のコンソールから取得が必要です）
- ②シークレットキー（予め AWS コンソールから取得が必要です）
- ③バケット（予め AWS コンソールで指定したバケット名を入力）
- ④バケット内にディレクトリを指定（若しくは作成する）する場合は、ここに入力します
- ⑤「接続テスト」ボタンを押し、成功すれば「OK」ボタンを押します。

汎用 S3 でクラウドバックアップを行う。



汎用 S3 の場合、①～⑤までをサービス提供者より予め発行される場合がございます
詳しくは、サービス提供元へお問合せ下さい。

【バックアップタスク作成～元ディレクトリ、若しくは（保存先ディレクトリ）の画面で設定が行えます】

※事前にコンソールから取得、若しくはサービス提供元から開示された情報を入力して下さい。

①サーバー名：

②アクセスキー ID：

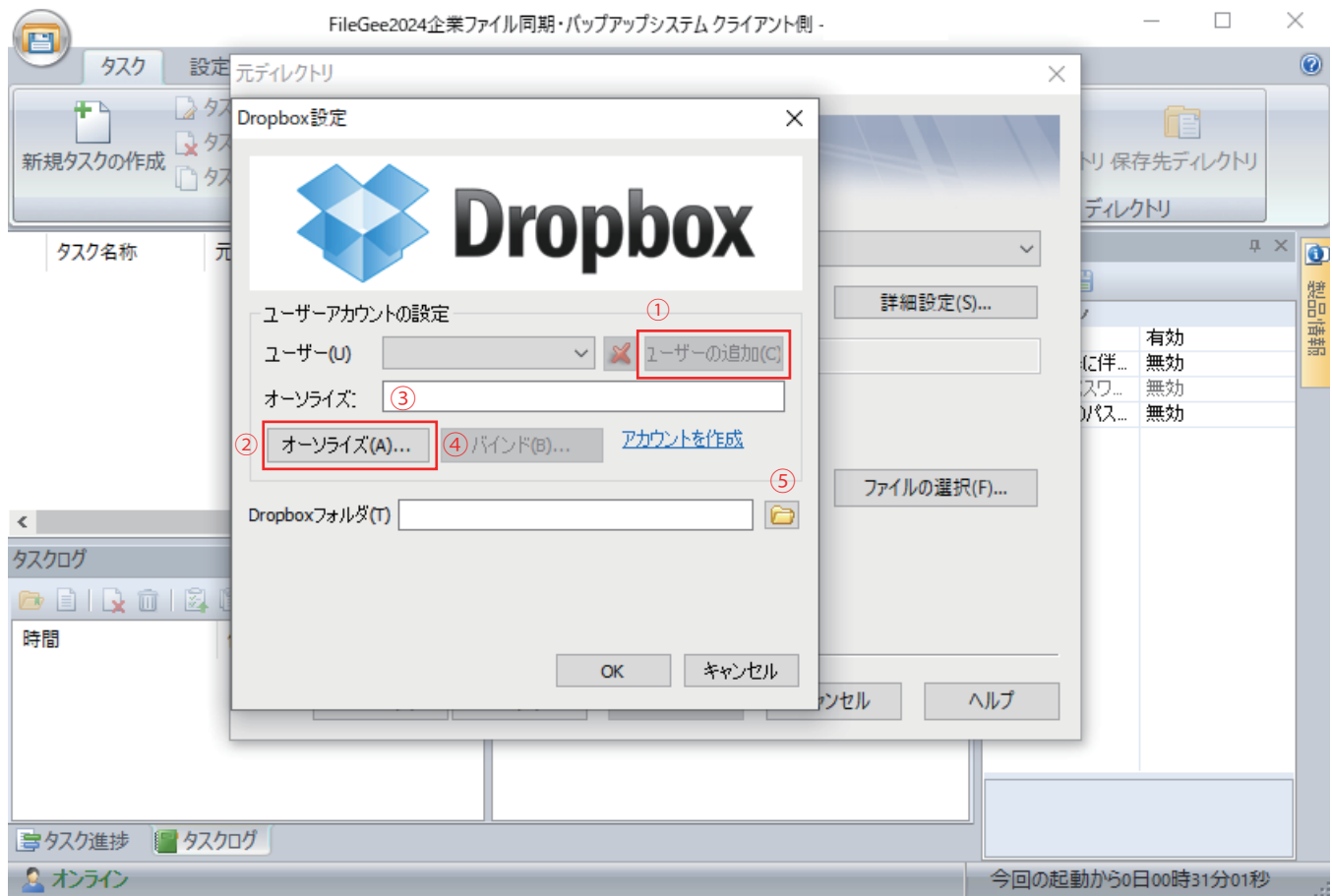
③シークレットキー：

④バケット：

⑤ディレクトリ：

⑤「接続テスト」ボタンを押し、成功すれば「OK」ボタンを押します。

Dropbox でクラウドバックアップを行う。

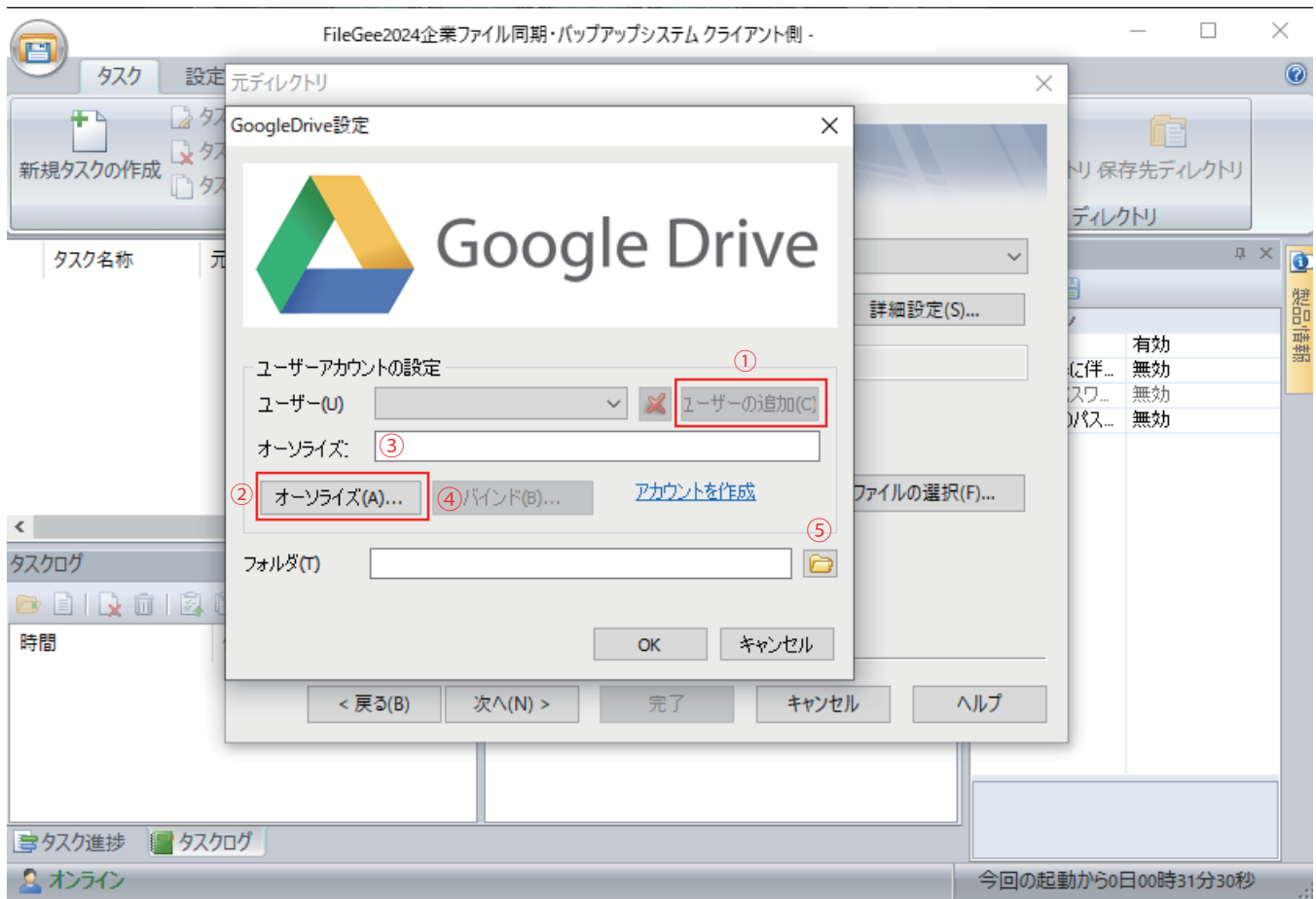


Dropbox の設定を行う場合、予めアカウント作成が必要です。

【バックアップタスク作成～元ディレクトリ、若しくは（保存先ディレクトリ）の画面で設定が行えます】

- ①「ユーザーの追加」を押します。
- ②「オーソライズ (A)」を押します。
ブラウザが起動し、サービスにログインする画面が表示されるので、ID/PASS を入力します。
ログイン後表示されたキーをコピーして下さい。
- ③「オーソライズ」先ほどコピーしたキーをここに貼り付けます。
- ④「バインド」 ボタンを押す事でクラウドサービスと紐づきが完了します。
- ⑤「Dropbox フォルダ (T)」 の参照ボタンを押す事でクラウド内のフォルダを選択できます。

Google Drive でクラウドバックアップを行う。

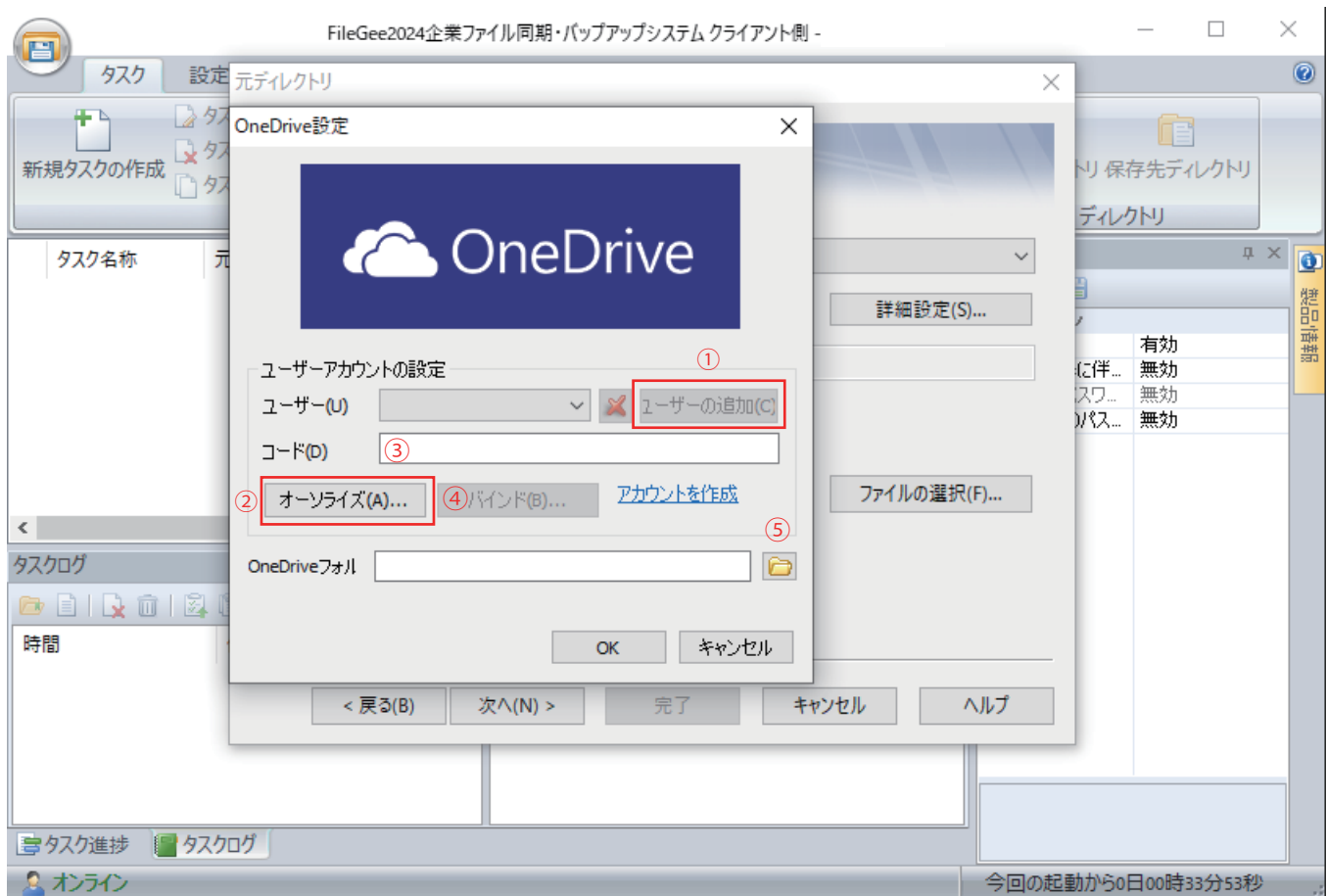


Google Drive の設定を行う場合、予めアカウント作成が必要です。

【バックアップタスク作成～元ディレクトリ、若しくは（保存先ディレクトリ）の画面で設定が行えます】

- ①「ユーザーの追加」を押します。
- ②「オーソライズ (A)」を押します。
ブラウザが起動し、サービスにログインする画面が表示されるので、ID/PASS を入力します。
ログイン後表示されたキーをコピーして下さい。
- ③「オーソライズ」先ほどコピーしたキーをここに貼り付けます。
- ④「バインド」 ボタンを押す事でクラウドサービスと紐づきが完了します。
- ⑤「フォルダ (T)」 の参照ボタンを押す事でクラウド内のフォルダを選択できます。

OneDrive でクラウドバックアップを行う。



OneDrive の設定を行う場合、予めアカウント作成が必要です。

【バックアップタスク作成～元ディレクトリ、若しくは（保存先ディレクトリ）の画面で設定が行えます】

- ①「ユーザーの追加」を押します。
- ②「オーソライズ (A)」を押します。
ブラウザが起動し、サービスにログインする画面が表示されるので、ID/PASS を入力します。
ログイン後表示されたキーをコピーして下さい。
- ③「オーソライズ」先ほどコピーしたキーをここに貼り付けます。
- ④「バインド」 ボタンを押す事でクラウドサービスと紐づきが完了します。
- ⑤「OneDrive フォルダ」の参照ボタンを押す事でクラウド内のフォルダを選択できます。